

## 第4章 各調査共通の質問に関する全体分析

この章では、「30～49歳調査」と「50～74歳調査」に共通の質問のうち、主なものについて抜粋し、二つの調査結果を合わせて、全体の分析を行っている。



# 1 地域に対する関心・課題認識（30～74歳全体分析）

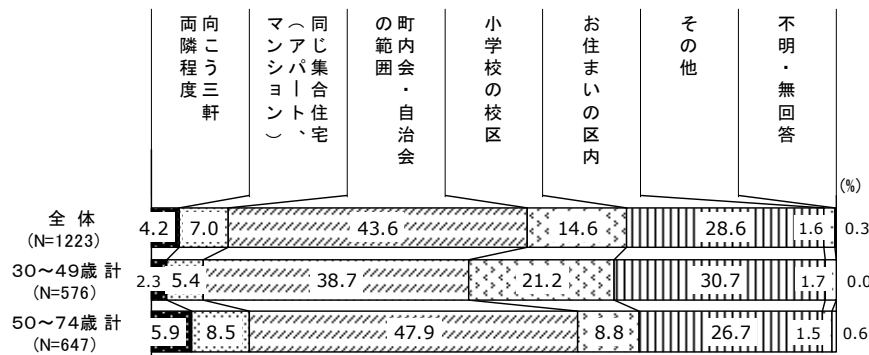
## (1) 「地域」の範囲

問1 あなたにとって、「地域」とは、次のうちの範囲をさすものですか。（○は1つ）

「地域」の範囲は、全体では、「町内会・自治会の範囲」が43.6%で最も高く、次いで「お住まいの区内」（28.6%）となっている。

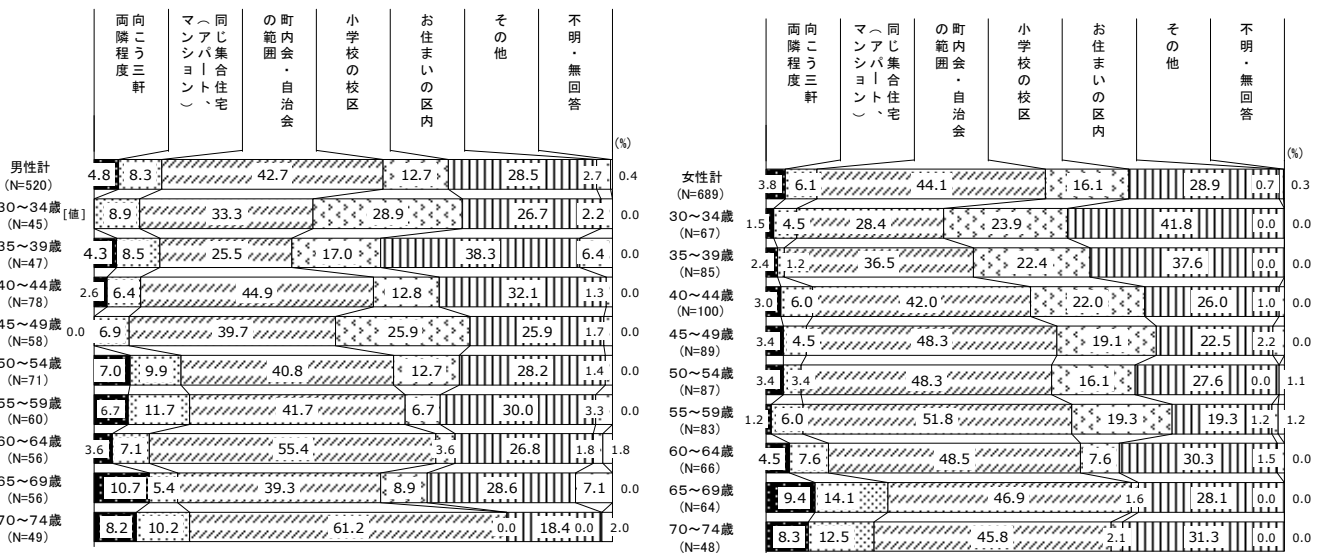
調査別にみると、「町内会・自治会の範囲」では「50～74歳」（47.9%）が「30～49歳」（38.7%）よりも9ポイント高く、「お住まいの区内」では「30～49歳」（30.7%）が「50～74歳」（26.7%）よりも4ポイント高くなっている。また、「小学校の校区」では「30～49歳」（21.2%）が「50～74歳」（8.8%）よりも12ポイント高くなっている。

図14-1 「地域」の範囲



性・年代別にみると、「町内会・自治会の範囲」では「男性70～74歳」が6割を超えて最も高くなっている。

図14-2 「地域」の範囲（性・年代別）

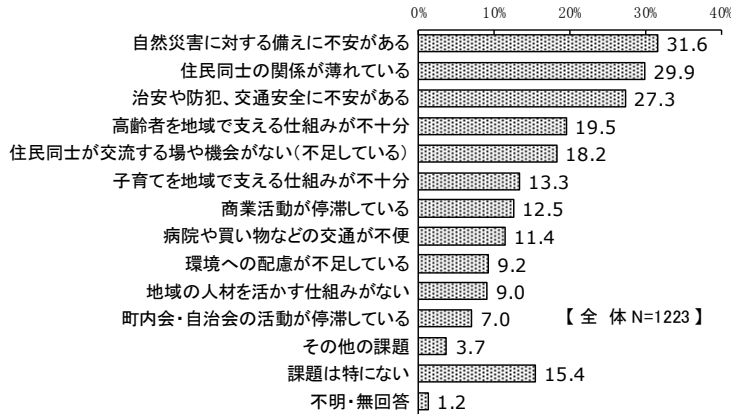


(2) 地域の課題

問2 あなたがお住まいの地域において、課題だと感じる項目を選んでください。  
(○は3つまで)

地域の課題は、全体では、「自然災害に対する備えに不安がある」が31.6%で最も高く、次いで、「住民同士の関係が薄れている」(29.9%)、「治安や防犯、交通安全に不安がある」(27.3%)となっている。

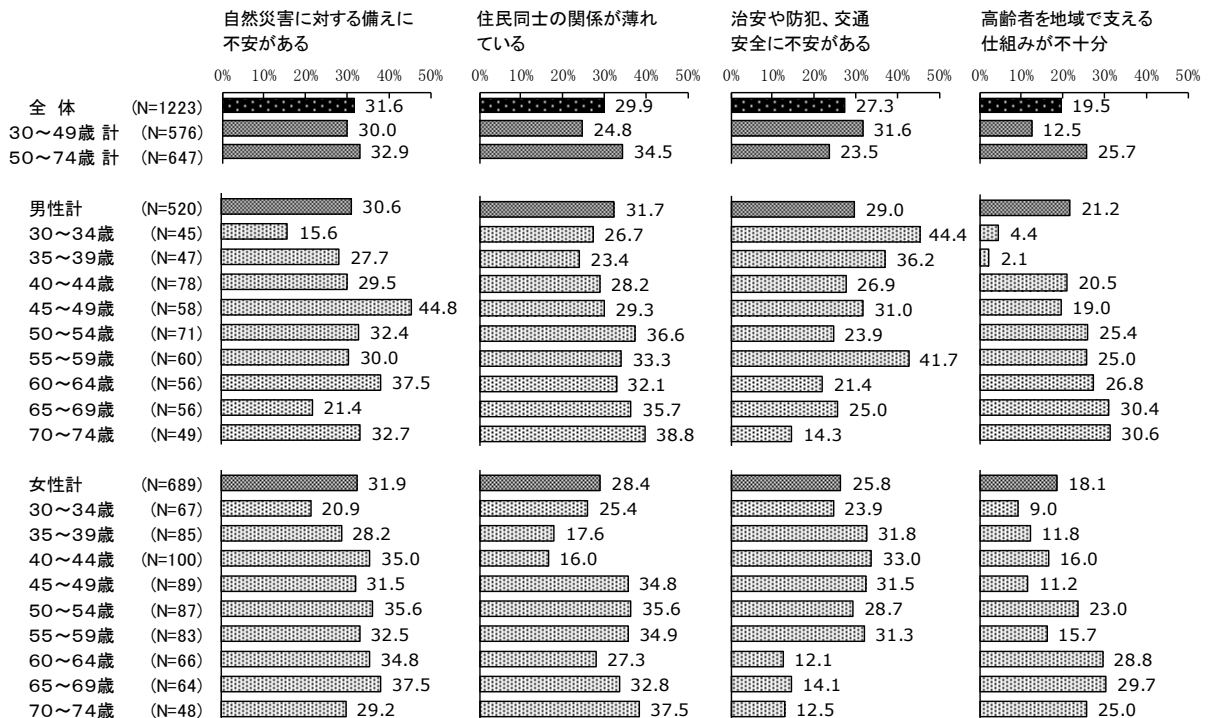
図14-3 地域の課題



上位4項目を調査別にみると、「住民同士の関係が薄れている」と「高齢者を地域で支える仕組みが不十分」では「50～74歳」が「30～49歳」よりも10ポイント以上高くなっており、「治安や防犯、交通安全に不安がある」では「30～49歳」が「50～74歳」よりも8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「自然災害に対する備えに不安がある」では「男性45～49歳」が、「治安や防犯、交通安全に不安がある」では「男性30～34歳」、「男性55～59歳」がそれぞれ4割を超えて高くなっている。

図14-4 地域の課題（性・年代別）—上位4項目—

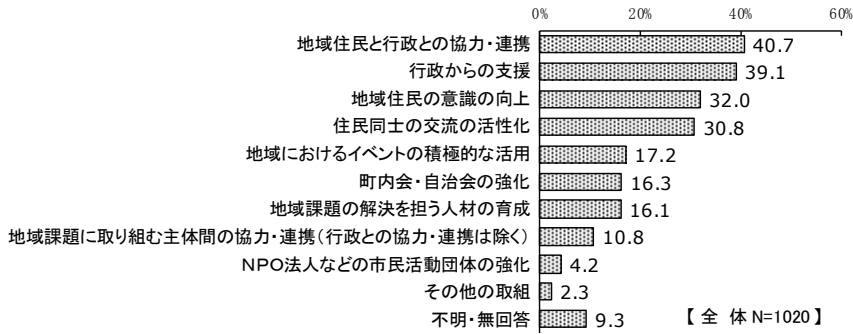


(3) 課題解決に有効な取組

問4 あなたがお住まいの地域における課題を解決するための取組として、何が有効だと思いますか。(〇は3つまで)  
 ※「課題は特にない」以外を選択した回答者が対象

課題解決に有効な取組は、全体では、「地域住民と行政との協力・連携」が40.7%で最も高く、次いで「行政からの支援」(39.1%)、「地域住民の意識の向上」(32.0%)、「住民同士の交流の活性化」(30.8%)となっている。

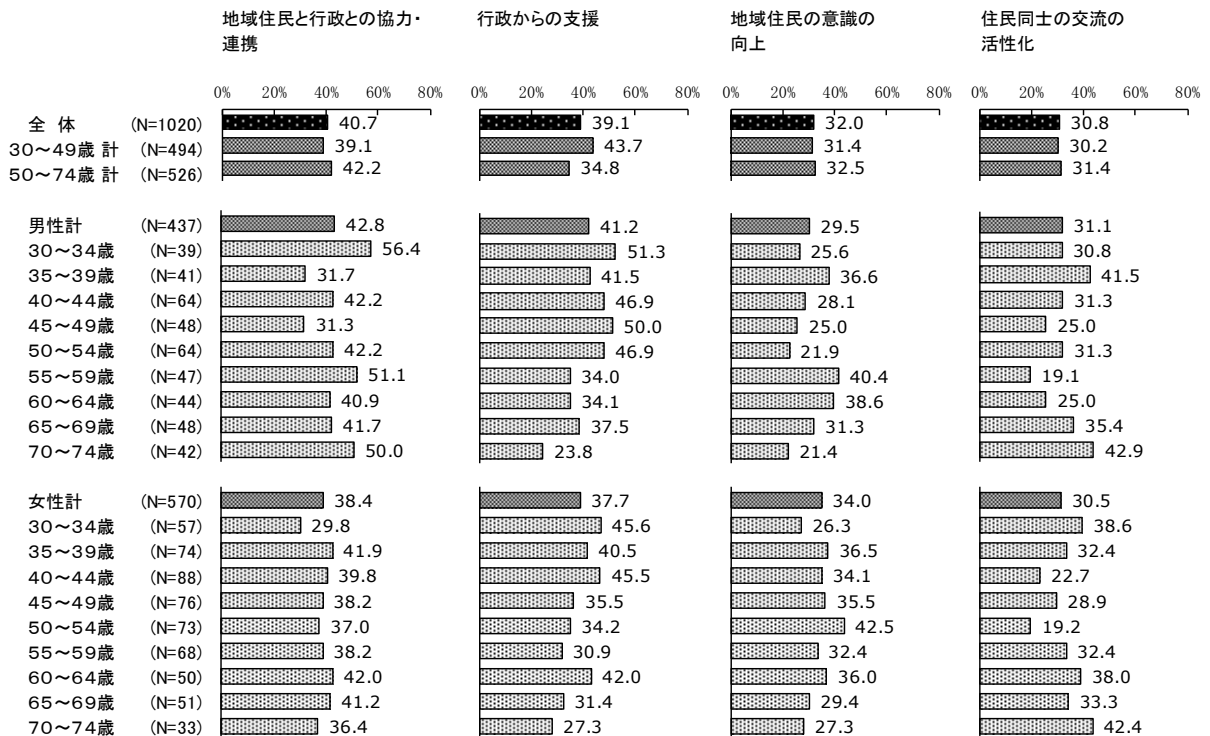
図14-5 課題解決に有効な取組



上位4項目を調査別にみると、「行政からの支援」では「30～49歳」(43.7%)が「50～74歳」(34.8%)よりも9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「地域住民と行政との協力・連携」では「男性30～34歳」が56.4%で最も高く、「男性55～59歳」、「70～74歳」も5割を超えている。また、「行政からの支援」では「男性30～34歳」、「男性45～49歳」が5割を超えており、女性は「30～34歳」、「40～44歳」が4割台半ばで高くなっている。そのほか、「地域住民の意識の向上」では「男性55～59歳」と「女性50～54歳」が、「住民同士の交流の活性化」では「男性35～39歳」と男女の「70～74歳」がそれぞれ4割を超えて高くなっている。

図14-6 課題解決に有効な取組(性・年代別) —上位4項目—



(4) 課題解決のために負担できる時間

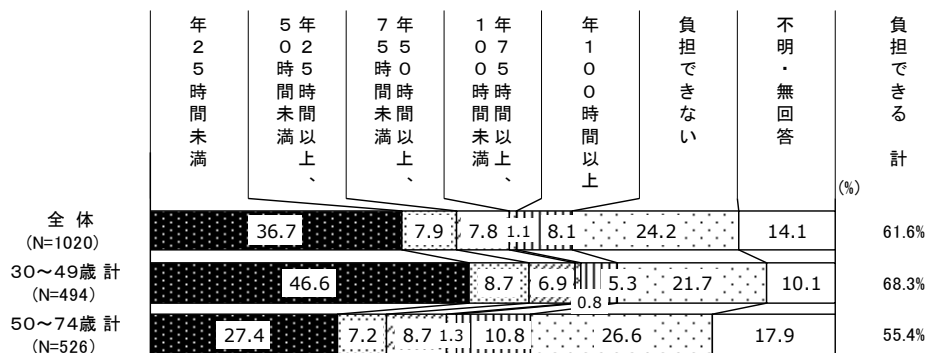
問6 あなたがお住まいの地域における課題を解決するために、  
 年間にあなたご自身が負担できる時間、経済的負担はどれくらいですか。  
 それぞれの( )内に、あてはまる数字をご記入ください。  
 (ア) 時間  
 ※「課題は特にない」以外を選択した回答者が対象

課題を解決するために負担できる時間は、全体では、「年25時間未満」が36.7%で最も高い。

「負担できない」と「不明・無回答」を除く「負担できる計」の割合は、全体では61.6%となっており、調査別にみると「30～49歳」(68.3%)が「50～74歳」(55.4%)よりも13ポイント高くなっている。

また、「年25時間未満」の割合は、調査別にみると、「30～49歳」(46.6%)が「50～74歳」(27.4%)よりも19ポイント高く、「年100時間以上」では「50～74歳」(10.8%)が「30～49歳」(5.3%)よりも6ポイント高くなっている。

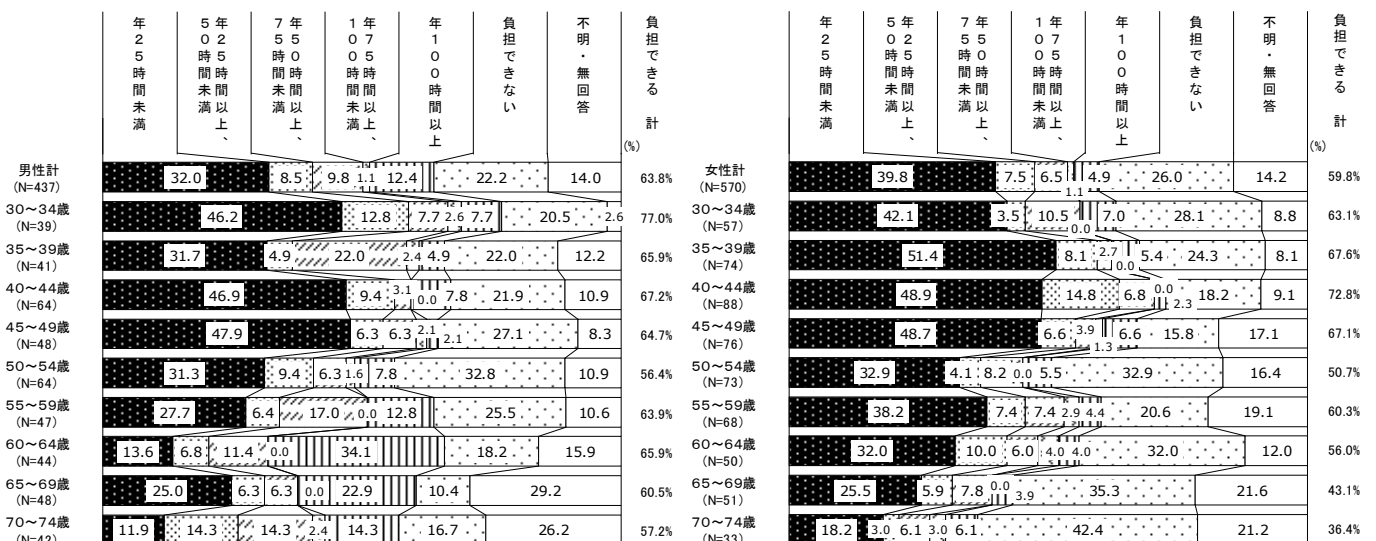
図14-7 課題解決のために負担できる時間



性・年代別にみると、「負担できる計」では「男性30～34歳」が77.7%で最も高くなっており、「年25時間未満」では「女性35～49歳」が5割前後で高く、「年100時間以上」では「男性60～64歳」が34.1%で最も高くなっている。

また、「年50時間以上、75時間未満」では「男性35～39歳」が22.0%で最も高くなっている。

図14-8 課題解決のために負担できる時間（性・年代別）—上位4項目—



(5) 課題解決のために負担できる経済的負担

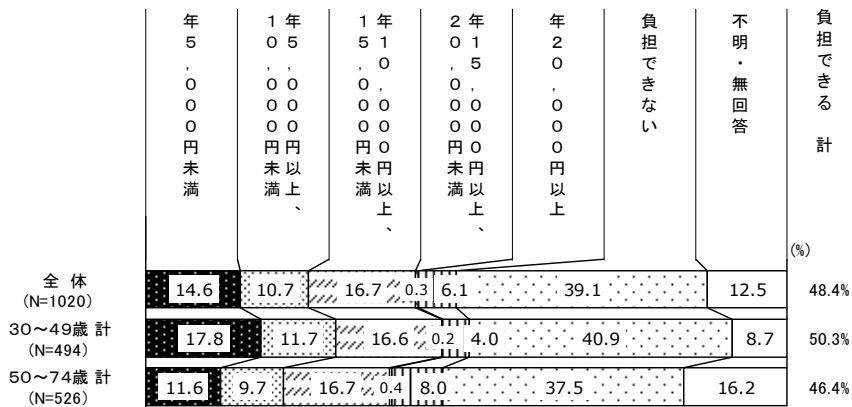
問6 あなたがお住まいの地域における課題を解決するために、  
 年間にあなたご自身が負担できる時間、経済的負担はどれくらいですか。  
 それぞれの( )内に、あてはまる数字をご記入ください。  
 (イ) 経済的負担 年( )円  
 ※「課題は特にない」以外を選択した回答者が対象

課題を解決するために負担できる金額は、全体では、「年10,000円以上15,000円未満」が16.7%で最も高い。

調査別にみると、「負担できない」と「不明・無回答」を除く「負担できる 計」の割合は、全体では48.4%となっており、調査別にみると「30~49歳」(50.3%)が「50~74歳」(46.4%)よりも4ポイント高くなっている。

また、「年5,000円未満」の割合は、調査別にみると、「30~49歳」(17.8%)が「50~74歳」(11.6%)よりも6ポイント高く、「年15,000円以上、20,000円未満」では「50~74歳」(8.0%)が「30~49歳」(4.0%)よりも4ポイント高くなっている。

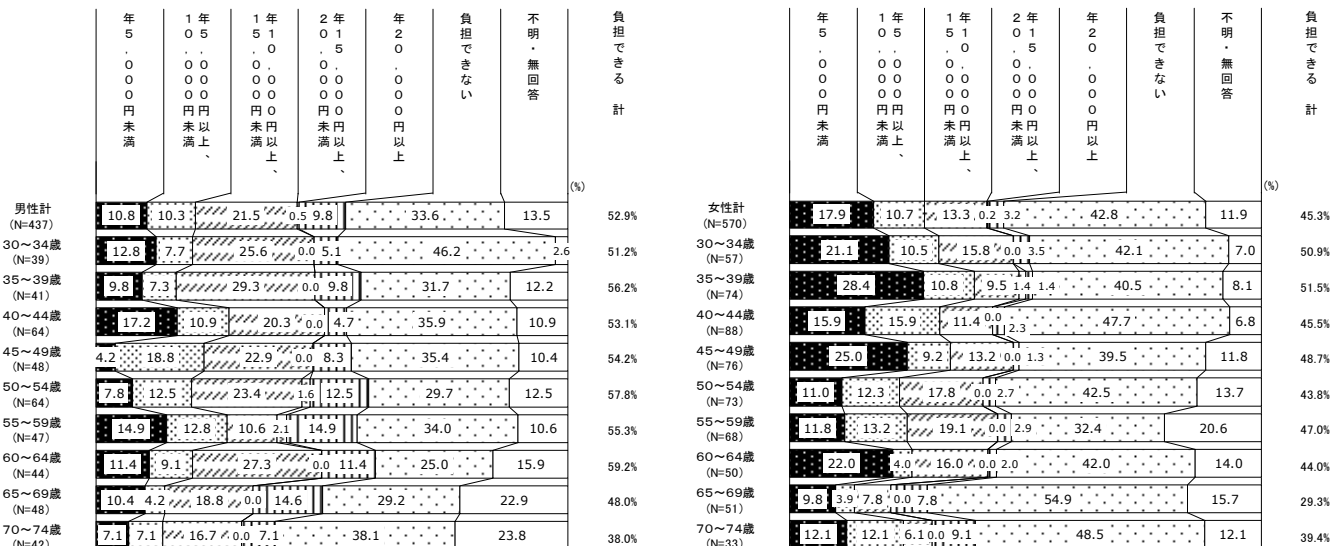
図14-9 課題解決のために負担できる経済的負担



性・年代別にみると、「年5,000円未満」では「女性35~39歳」が28.4%で最も高く、「女性45~49歳」、「女性60~64歳」も2割台となっている。

また、「10,000円以上、15,000円未満」では「男性計」(21.5%)が「女性計」(13.3%)よりも8ポイント高く、「男性35~39歳」は29.3%で最も高くなっている。

図14-10 課題解決のために負担できる経済的負担 (性・年代別) — 上位4項目 —



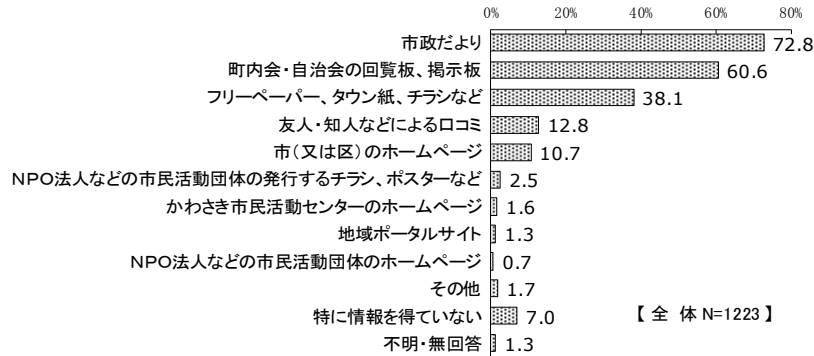
## 2 社会活動・地域活動への参加の状況や認識（30～74歳全体分析）

### （1）社会活動・地域活動に関する情報の入手先

問7 社会活動・地域活動に関する情報を、主にどのような媒体を通じて得ていますか。  
 (〇は3つまで)

社会活動・地域活動に関する情報の入手先は、全体では「市政だより」が72.8%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板、掲示板」(60.6%)、「フリーペーパー、タウン紙、チラシなど」(38.1%)となっている。

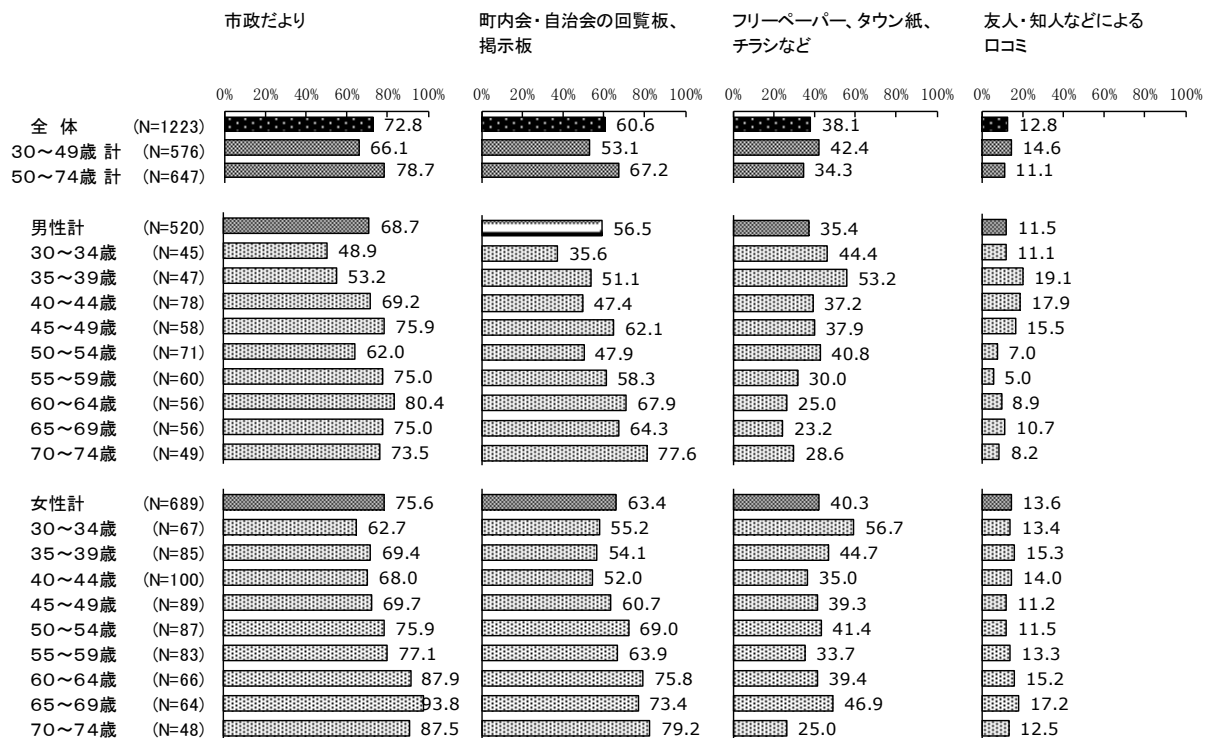
図15-1 社会活動・地域活動に関する情報の入手先



上位4項目を調査別にみると、「市政だより」と「町内会・自治会の回覧板、掲示板」では「50～74歳」が「30～49歳」よりも13ポイント以上高く、「フリーペーパー、タウン紙、チラシなど」では「30～49歳」(42.4%)が「50～74歳」(34.3%)よりも8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「市政だより」では「男性60～64歳」、「女性60～74歳」が8割を超えて、「町内会・自治会の回覧板、掲示板」では「男性70～74歳」、「女性60～74歳」が7割台でそれぞれ高くなっている。また、「フリーペーパー、タウン紙、チラシなど」では「男性35～39歳」と「女性30～34歳」で5割台となっている。

図15-2 社会活動・地域活動に関する情報の入手先（性・年代別）—上位4項目—





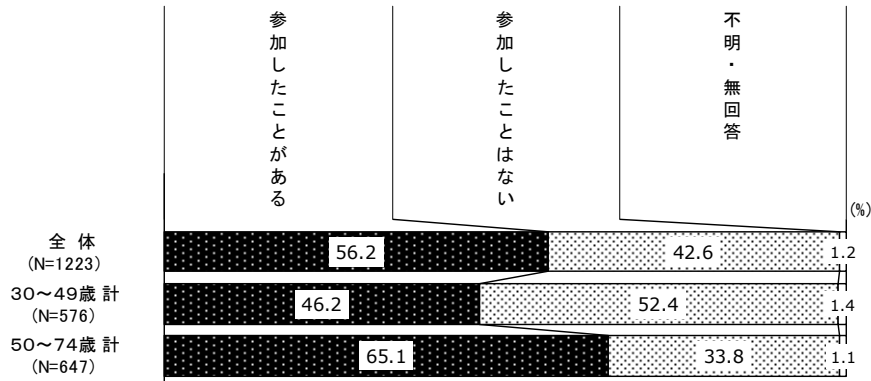
(2) 社会活動・地域活動への参加経験

問8 あなたはこれまでに社会活動・地域活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

社会活動・地域活動へ「参加したことがある」が、全体の56.2%となっている。

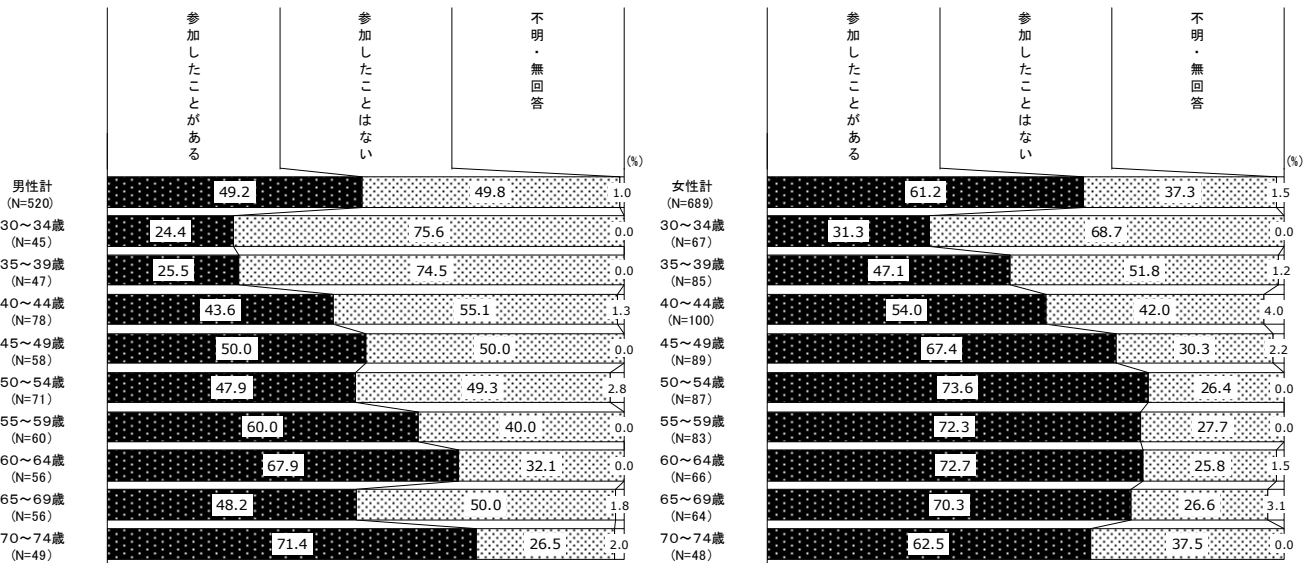
調査別にみると、「参加したことがある」割合は「50～74歳」(65.1%)が「30～49歳」(46.2%)よりも19ポイント高くなっている。

図15-3 社会活動・地域活動への参加経験



性・年代別にみると、「参加したことがある」割合は「男性70～74歳」、「女性50～69歳」で7割を超えている。

図15-4 社会活動・地域活動への参加経験(性・年代別)



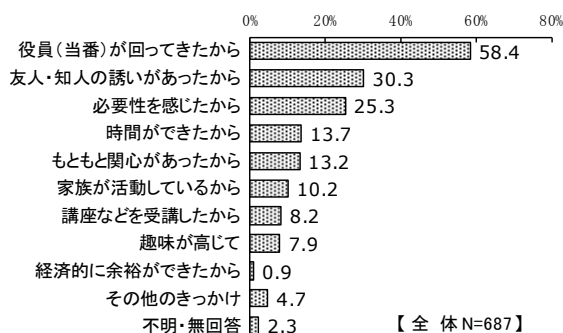
(3) 社会活動・地域活動に参加したきっかけ

問10 社会活動・地域活動に参加したきっかけは次のどれですか。(○は3つまで)  
 ※参加経験者が対象

社会活動・地域活動に参加したきっかけは、全体では、「役員（当番）が回ってきたから」が58.4%で最も高く、次いで「友人・知人の誘いがあったから」（30.3%）、「必要性を感じたから」（25.3%）となっている。

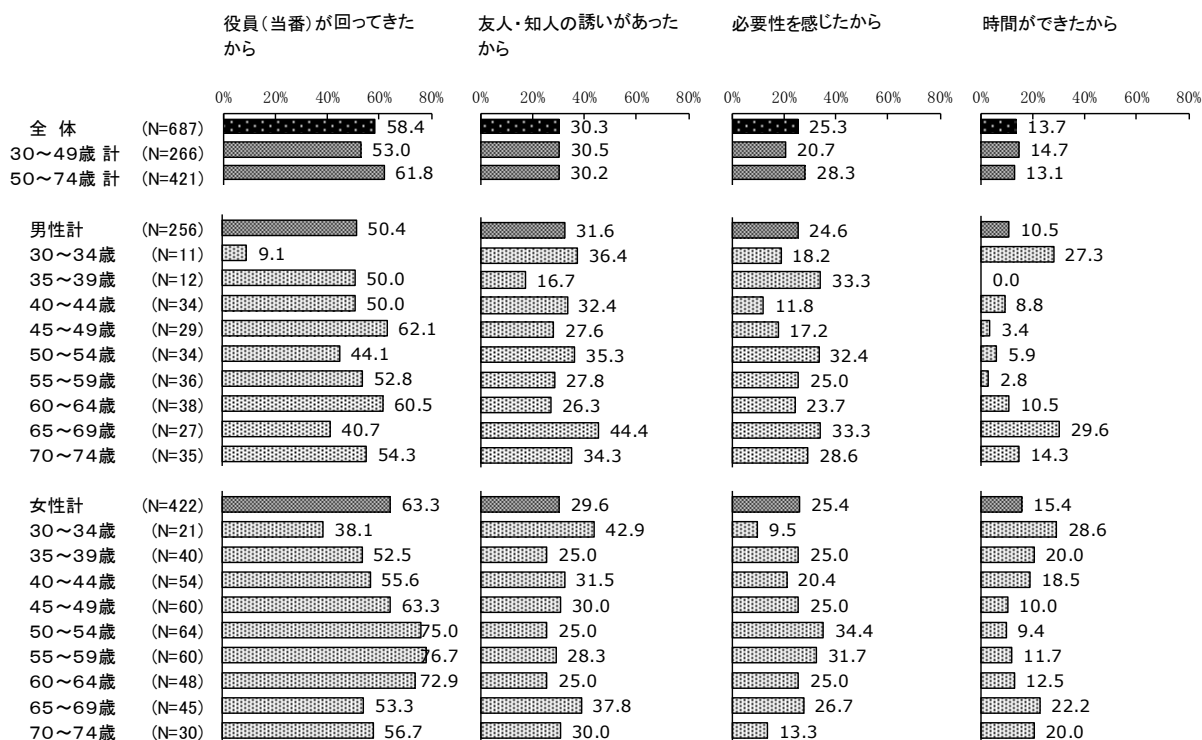
上位4項目を調査別にみると、「役員（当番）が回ってきたから」と「必要性を感じたから」では「50～74歳」が「30～49歳」よりも8～9ポイント高くなっている。

図15-5 社会活動・地域活動に参加したきっかけ



性・年代別にみると、「役員（当番）が回ってきたから」では「女性50～64歳」が7割台で高くなっている。また、「友人・知人の誘いがあったから」では男女ともに「30～34歳」と「65～69歳」が他の年代よりも高くなっている。そのほか、「必要性を感じたから」では「男性35～39歳」、「男性50～54歳」、「男性65～69歳」、「女性50～59歳」で3割を超えている。

図15-6 社会活動・地域活動に参加したきっかけ（性・年代別）—上位4項目—



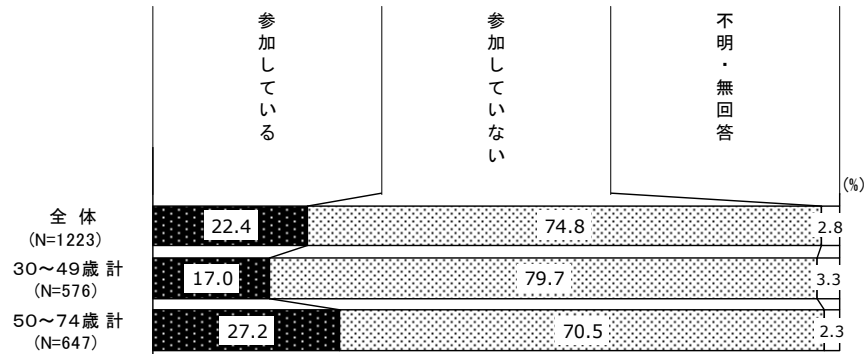
(4) 社会活動・地域活動への参加状況

問12 (ア) 現在、継続して社会活動・地域活動に参加していますか。(○は1つ)

社会活動・地域活動へ「参加している」は、全体では22.4%となっている。

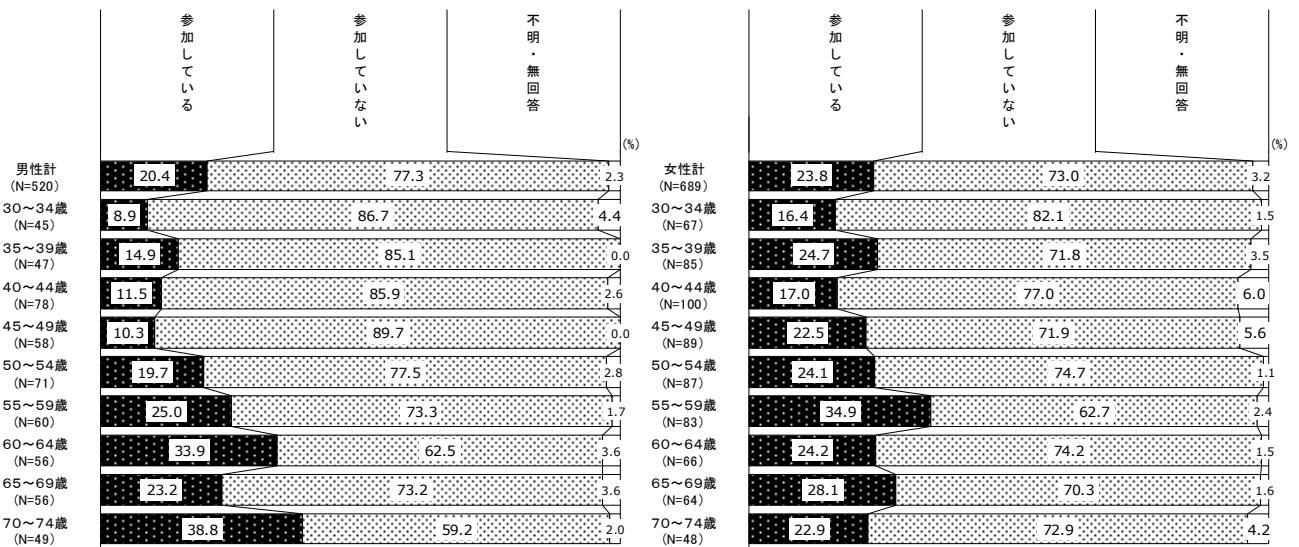
調査別にみると、「参加している」割合は「50～74歳」(27.2%)が「30～49歳」(17.0%)よりも10ポイント高くなっている。

図15-7 社会活動・地域活動への参加状況



性・年代別にみると、「参加している」割合は「男性60～64歳」、「男性70～74歳」、「女性55～59歳」で3割を超えている。

図15-8 社会活動・地域活動への参加状況 (性・年代別)



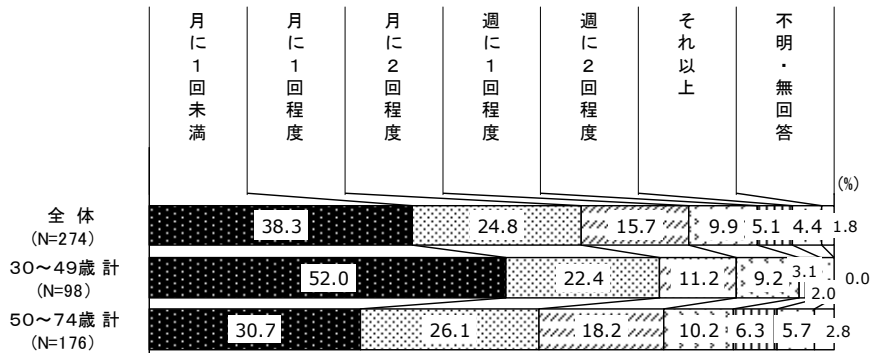
(5) 活動の頻度

問12 (イ) また、その活動の頻度はどれくらいですか。(○は1つ)  
 ※継続参加者が対象

社会活動・地域活動の頻度について、全体では、「月に1回未満」が38.3%で最も高く、次いで「月に1回程度」(24.8%)、「月に2回程度」(15.7%)となっている。

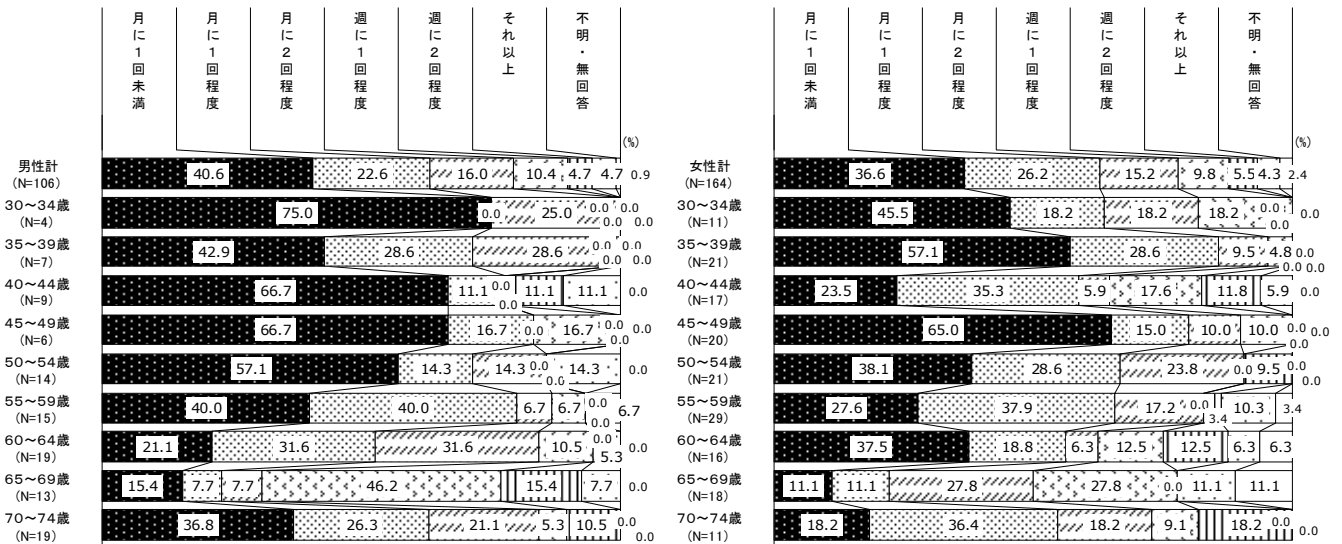
調査別にみると、「月に1回未満」では「30～49歳」(52.0%)が「50～74歳」(30.7%)よりも21ポイント高く、「月に2回程度」では「50～74歳」(18.2%)が「30～49歳」(11.2%)よりも7ポイント高くなっている。

図15-9 活動の頻度



性・年代別にみると、基数は少ないものの、概ね男性の年代が上がるにつれて「月1回程度以上」の割合が高くなる傾向がみられる。

図15-10 活動の頻度 (性・年代別)

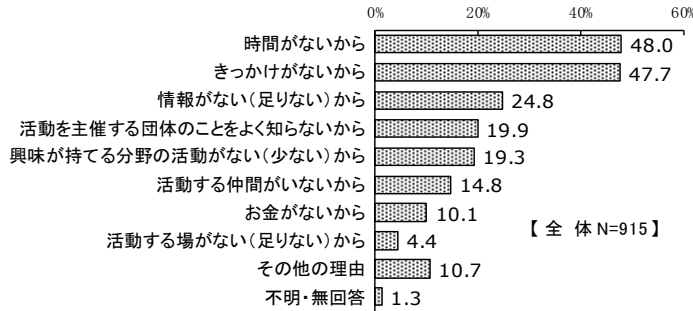


(6) 社会活動・地域活動に参加しない理由

問13 あなたが、社会活動・地域活動に参加しない理由は何ですか。(〇は3つまで)  
※非継続参加者が対象

社会活動・地域活動に参加しない理由について、全体では、「時間がないから」(48.0%)が最も高く、次いで「きっかけがないから」(47.7%)、「情報がない(足りない)から」(24.8%)、「活動を主催する団体のことをよく知らないから」(19.9%)、「興味が持てる分野の活動がない(少ない)から」(19.3%)となっている。

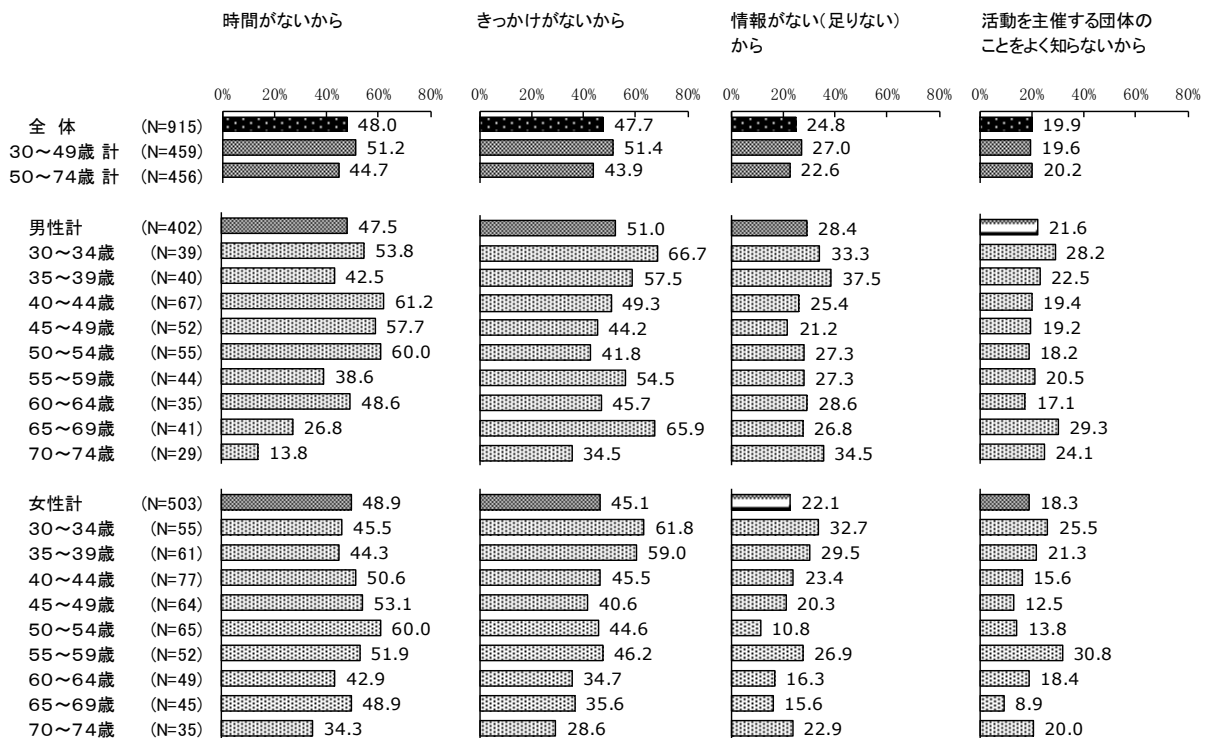
図15-1-1 社会活動・地域活動に参加しない理由



上位4項目を調査別にみると、「時間がないから」と「きっかけがないから」では「30～49歳」が「50～74歳」よりも7～8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「時間がないから」では「男性40～54歳」と「女性50～54歳」が6割前後で高くなっている。「きっかけがないから」では男女ともに「30～34歳」が6割台で最も高くなっており、男性は「65～69歳」も同様に高くなっている。また、「情報がない(足りない)から」では「男性30～39歳」、「男性70～74歳」、「女性30～34歳」が3割を超えている。

図15-1-2 社会活動・地域活動に参加しない理由(性・年代別) —上位4項目—



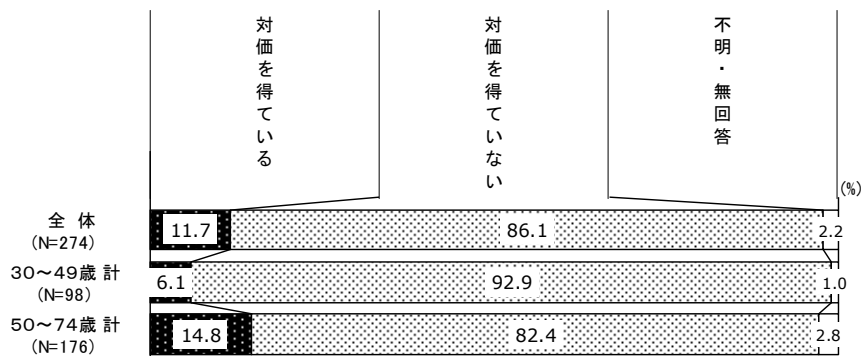
(7) 社会活動・地域活動への参加による対価の取得状況

問16 (ア) あなたは、社会活動・地域活動へ参加することで金銭による対価を得ていますか。(○は1つ)

社会活動・地域活動参加による対価の取得状況について、全体では「対価を得ている」が11.7%となっており、一方、「対価を得ていない」は86.1%となっている。

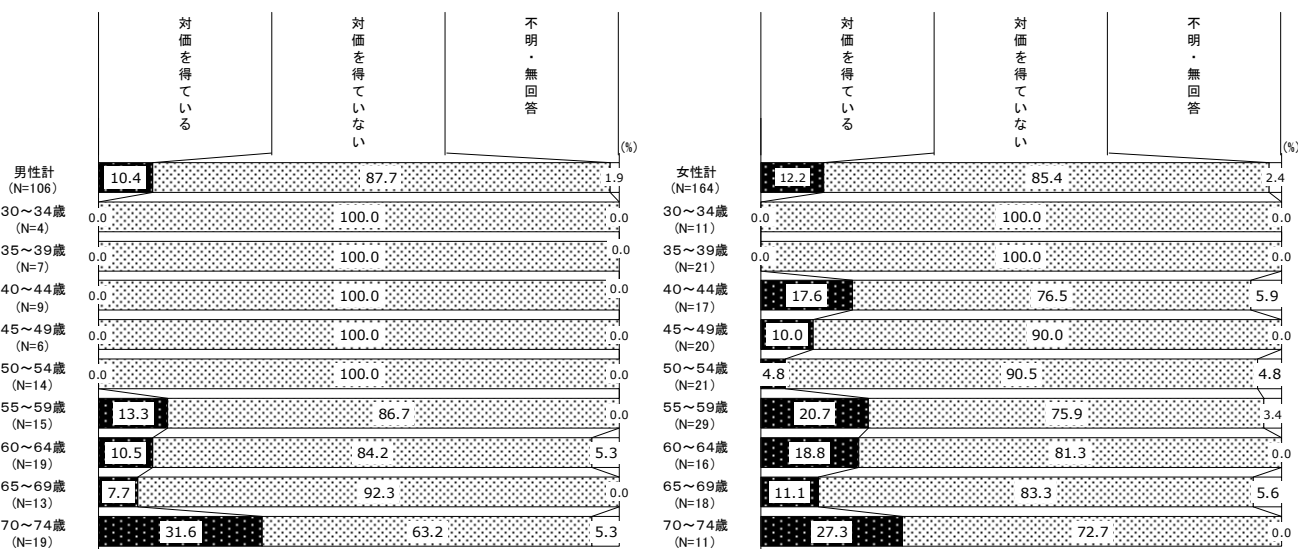
調査別にみると、「対価を得ている」では「50～74歳」(14.8%)が「30～49歳」(6.1%)よりも9ポイント高くなっている。

図15-13 社会活動・地域活動への参加による対価の取得状況



性・年代別にみると、基数は少ないものの、「対価を得ている」では男女ともに「70～74歳」が最も高くなっている。

図15-14 社会活動・地域活動への参加による対価の取得状況 (性・年代別)



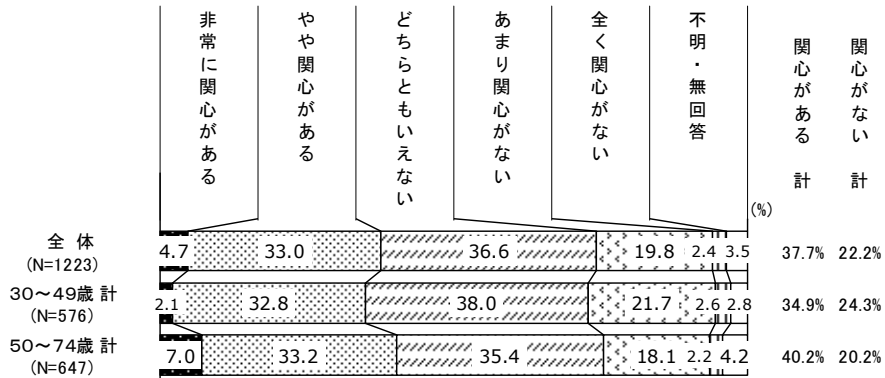
(8) 社会活動・地域活動への関心度

問17 あなたは、社会活動・地域活動にどの程度関心がありますか。(○は1つ)

社会活動・地域活動への関心度について、「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせた「関心がある 計」は、全体では37.7%となっている。

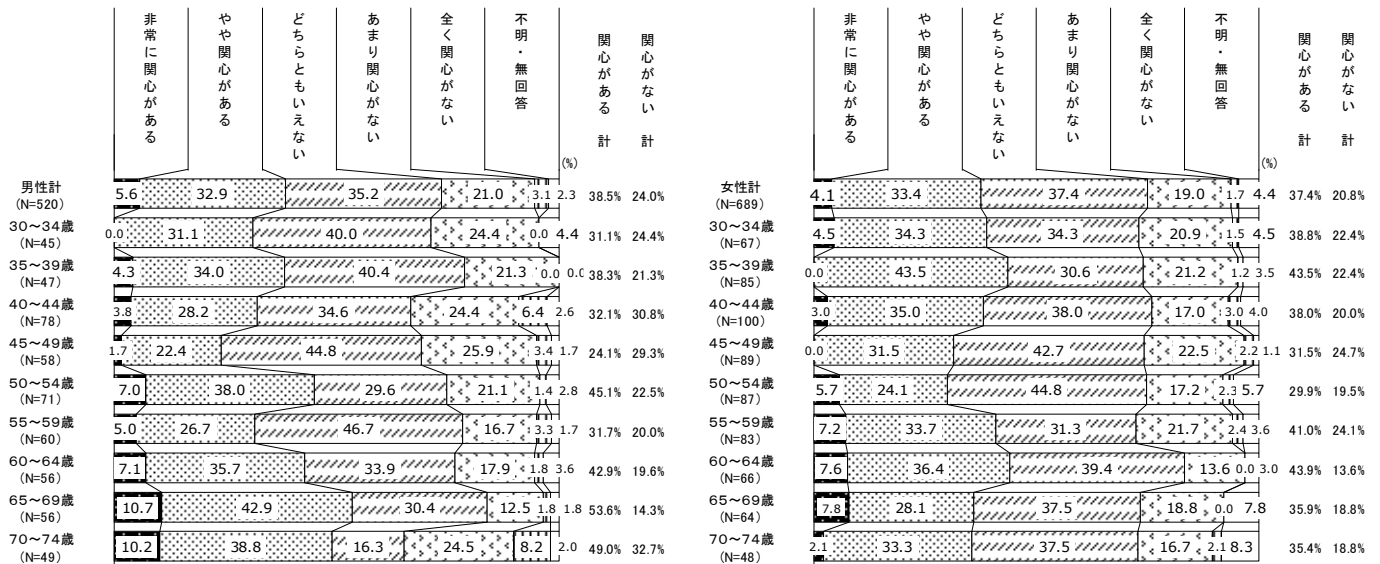
調査別にみると、「関心がある 計」の割合は、「50～74歳」(40.2%)が「30～49歳」(34.9%)よりも5ポイント高くなっている。

図15-15 社会活動・地域活動への関心度



性・年代別にみると、「関心がある 計」では、「男性50～54歳」、「男性60～74歳」、「女性35～39歳」、「女性55～64歳」で4割を超えており、「男性65～69歳」は53.6%で最も高くなっている。

図15-16 社会活動・地域活動への関心度 (性・年代別)

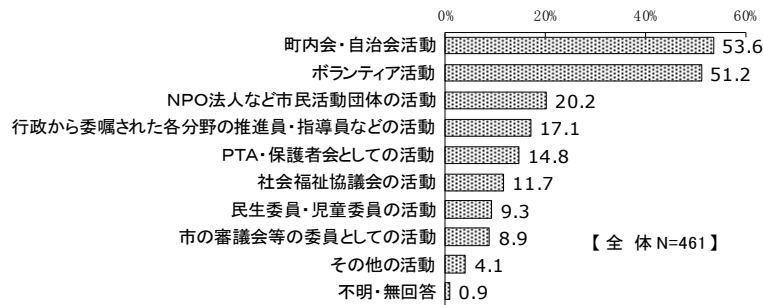


(9) 関心のある社会活動・地域活動

問18 あなたが関心のある社会活動・地域活動は次のどれですか。(〇はいくつでも)  
 ※「非常に関心がある」または「やや関心がある」を選択した回答者が対象

関心がある社会活動・地域活動の内容は、全体では、「町内会・自治会活動」(53.6%)が最も高く、僅差で「ボランティア活動」(51.2%)が続いている。

図15-17 関心のある社会活動・地域活動

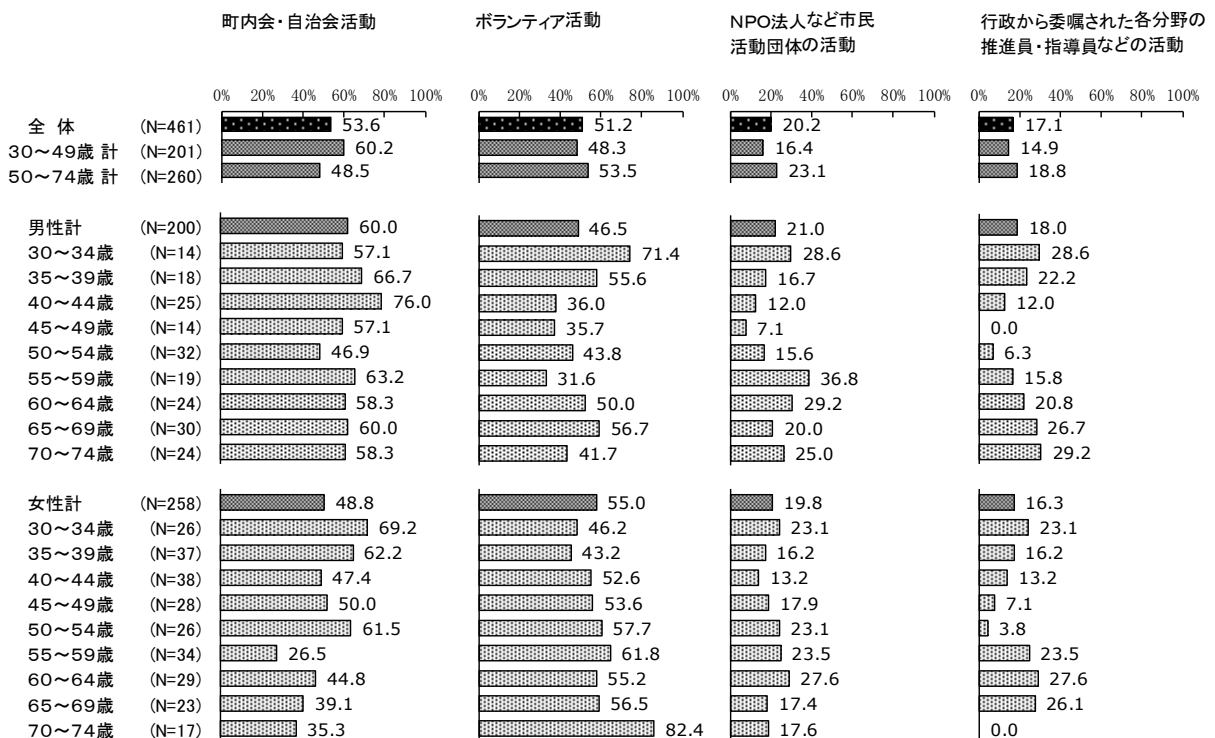


上位4項目を調査別にみると、「町内会・自治会活動」では「30～49歳」(60.2%)が「50～74歳」(48.5%)よりも12ポイント高く、「ボランティア活動」、「NPO法人など市民活動団体の活動」、「行政から委嘱された各分野の推進員・指導員などの活動」では「50～74歳」が「30～49歳」よりも4～7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「町内会・自治会活動」では「男性40～44歳」(76.0%)と「女性30～34歳」(69.2%)がそれぞれ高くなっている。

また、基数は少ないものの「ボランティア活動」では概ね女性の年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられる。

図15-18 関心のある社会活動・地域活動(性・年代別) —上位4項目—



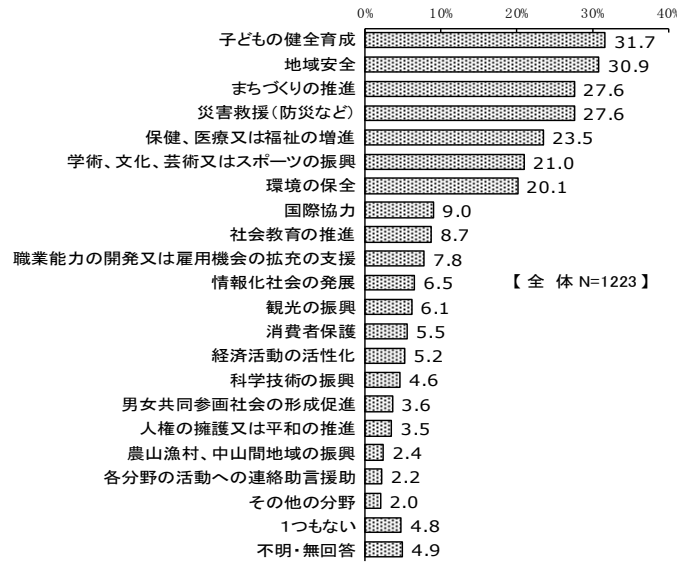


(10) 参加したい社会活動・地域活動の分野

問20 あなたは、どのような分野の社会活動・地域活動であれば参加したいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

参加したい社会活動・地域活動の分野について、全体では、「子どもの健全育成」(31.7%)が最も高く、次いで「地域安全」(30.9%)、「まちづくりの推進」(27.6%)、「災害救援(防災など)」(27.6%)、「保健、医療又は福祉の増進」(23.5%)、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」(21.0%)、「環境の保全」(20.1%)となっている。

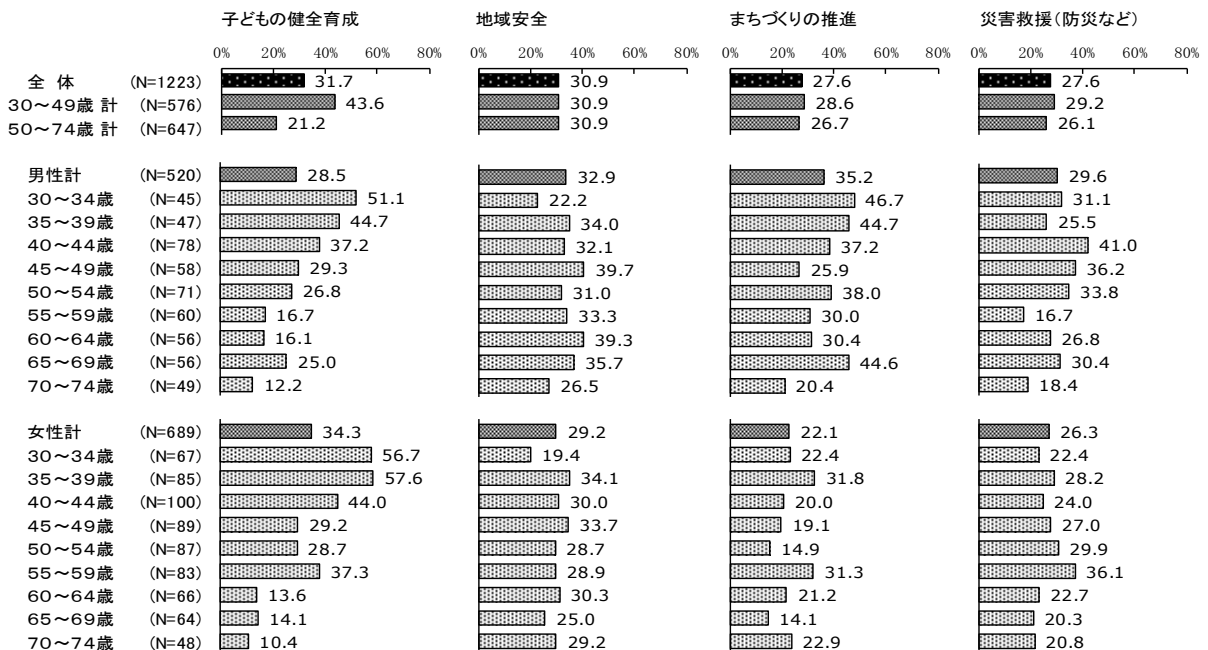
図15-19 参加したい社会活動・地域活動の分野



上位4項目を調査別にみると、「子どもの健全育成」では「30～49歳」(43.6%)が「50～74歳」(21.2%)よりも22ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「子どもの健全育成」では「男性30～34歳」と「女性30～39歳」が5割台で高くなっている。また、「地域安全」では「男性45～49歳」と「男性60～64歳」が、「まちづくりの推進」では「男性30～39歳」、「男性65～69歳」がそれぞれ4割前後で高くなっている。

図15-20 参加したい社会活動・地域活動の分野(性・年代別) —上位4項目—

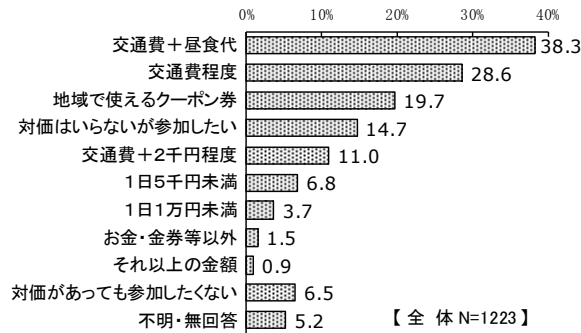


(11) どのような対価があれば社会活動・地域活動に参加したいか

問22 あなたが、社会活動・地域活動をする場合、どのような対価があれば参加したいですか。(〇は3つまで)

どのような対価があれば社会活動・地域活動に参加したいかについて、全体では、「交通費+昼食代」が38.3%で最も高く、次いで「交通費程度」(28.6%)、「地域で使えるクーポン券」(19.7%)となっている。一方、「対価はいらないが参加したい」は14.7%となっている。

図15-21 どのような対価があれば社会活動・地域活動に参加したいか

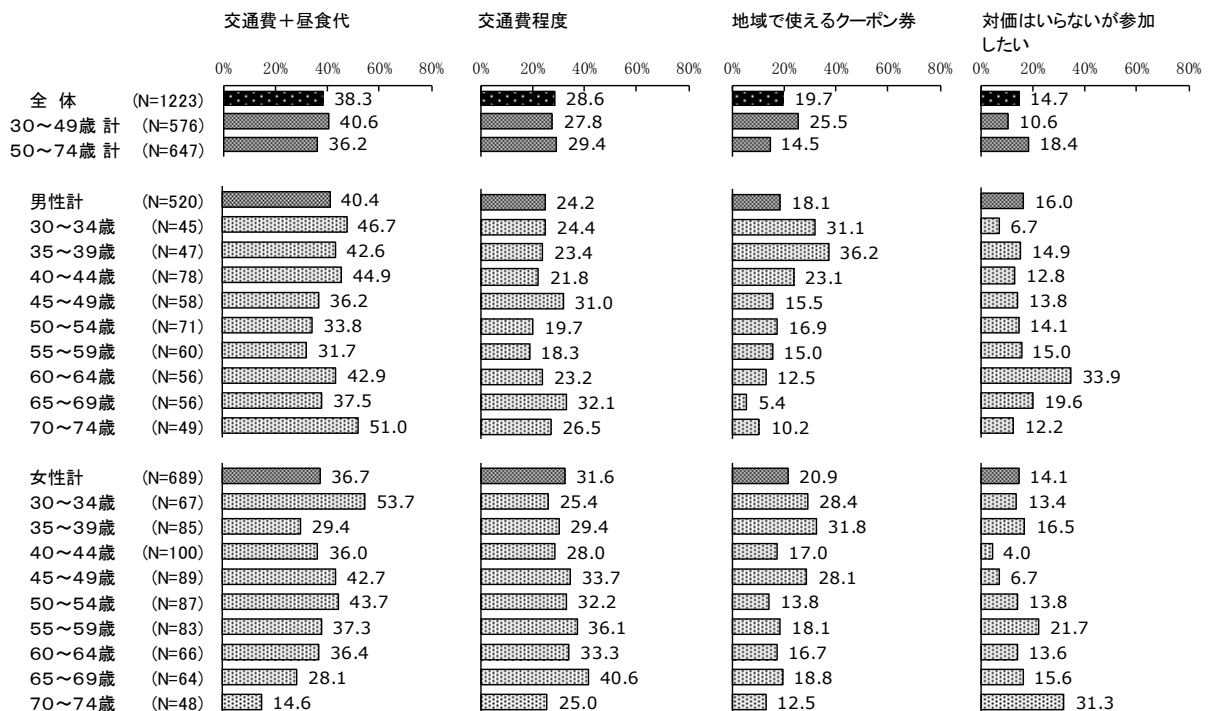


上位4項目を調査別にみると、「地域で使えるクーポン券」では「30～49歳」(25.5%)が「50～74歳」(14.5%)よりも11ポイント高くなっている。性・年代別にみると、「交通費+昼食代」では「男性70～74歳」と「女性30～34歳」が5割を超えて高くなっている。

また、「地域で使えるクーポン券」では男女の「30～39歳」と「女性45～49歳」が3割前後で高くなっている。

図15-22 どのような対価があれば社会活動・地域活動に参加したいか(性・年代別)

—上位4項目—

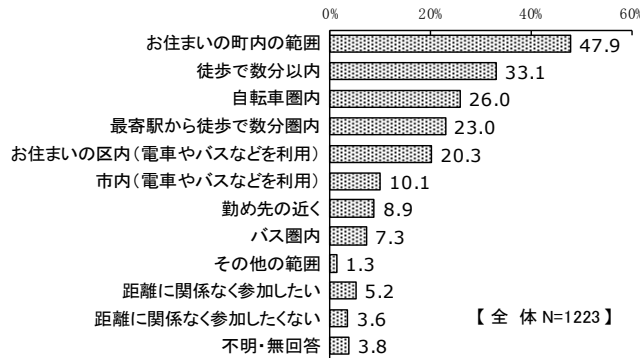


(12) 参加しやすい活動範囲

問26 あなたが参加しやすい活動範囲は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

参加しやすい活動範囲について、全体では、「お住まいの町内の範囲」が47.9%で最も高く、次いで「徒歩で数分以内」(33.1%)、「自転車圏内」(26.0%)、「最寄駅から徒歩で数分圏内」(23.0%)となっている。

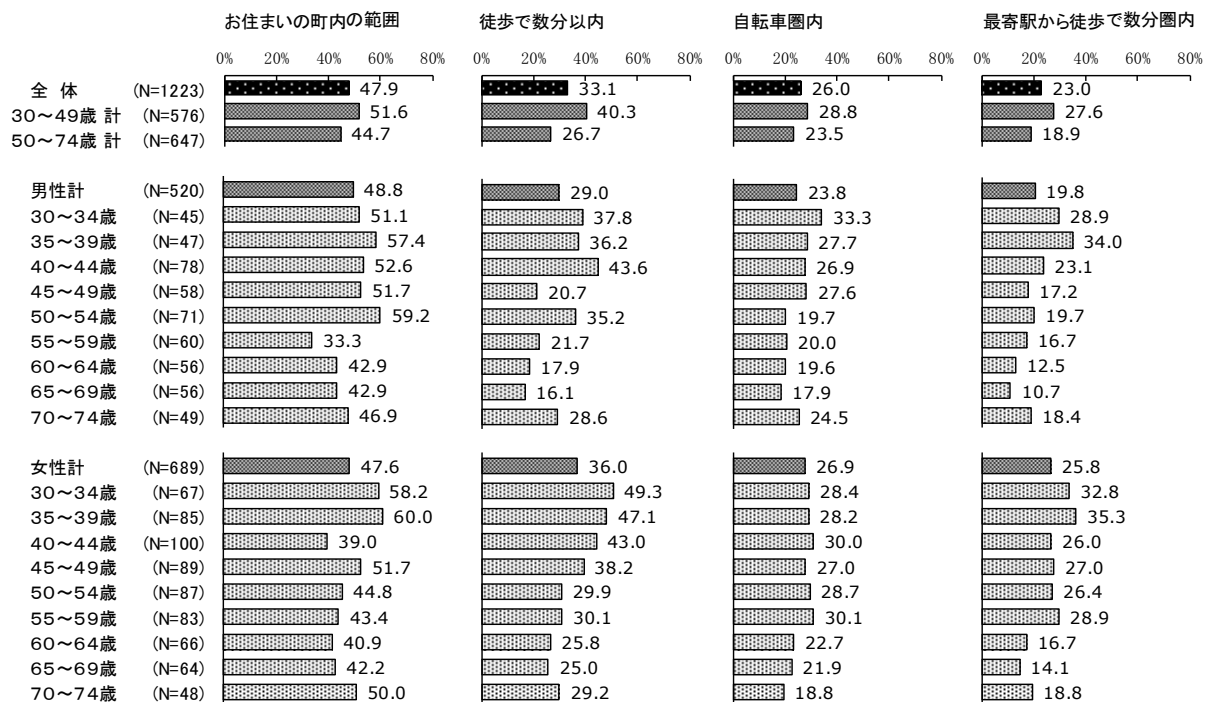
図15-23 参加しやすい活動範囲



上位4項目を調査別にみると、「徒歩で数分以内」では「30～49歳」(40.3%)が「50～74歳」(26.7%)よりも14ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「お住まいの町内の範囲」では「男性35～39歳」、「男性50～54歳」、「女性30～39歳」が6割前後で高くなっている。また、「徒歩で数分以内」では女性の年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向がみられる。

図15-24 参加しやすい活動範囲(性・年代別) —上位4項目—

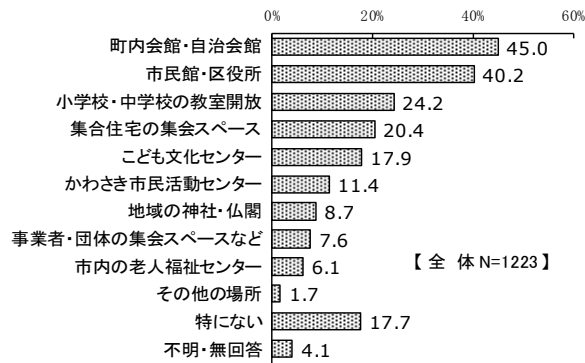


(13) 地域で活動を行う場合に気軽に使える場所

問27 あなたが、地域で活動を行う場合に、気軽に使える場所は次のどれですか。  
(〇はいくつでも)

地域で活動を行う場合に気軽に使える場所について、全体では、「町内会館・自治会館」が45.0%で最も高く、次いで「市民館・区役所」(40.2%)となっている。

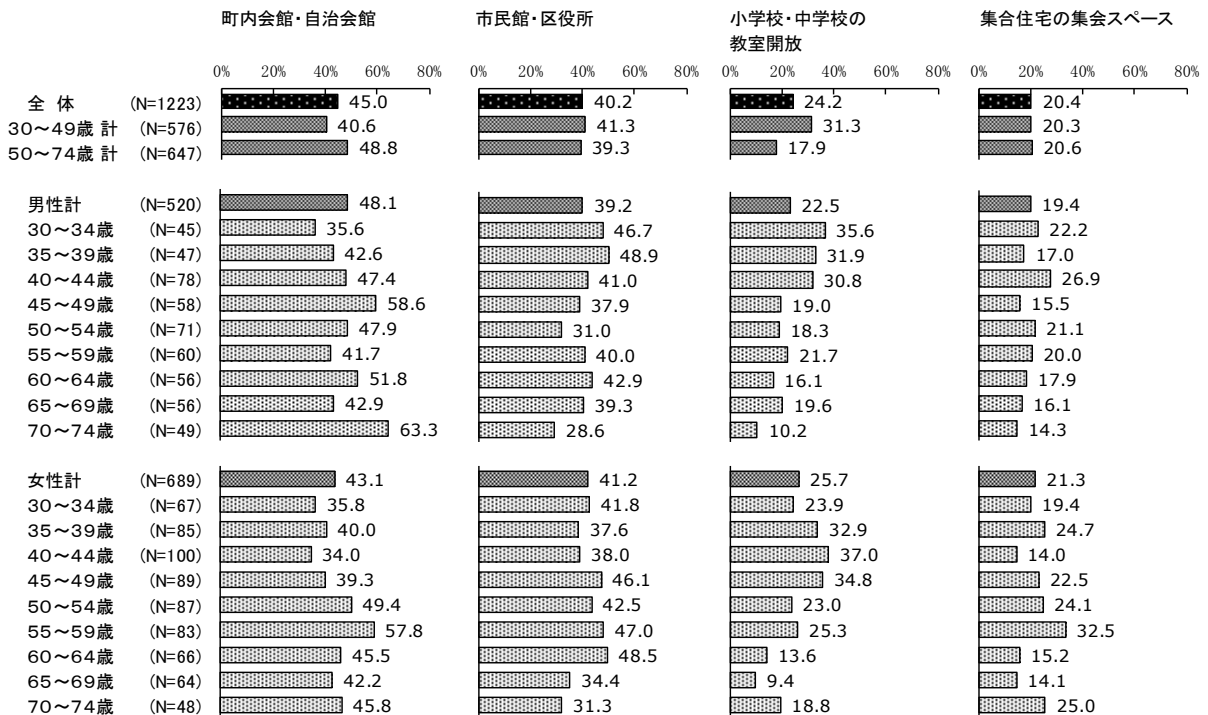
図15-25 地域で活動を行う場合に気軽に使える場所



上位4項目を調査別にみると、「町内会館・自治会館」では「50～74歳」(48.8%)が「30～49歳」(40.6%)よりも8ポイント高く、「小学校・中学校の教室開放」では「30～49歳」(31.3%)が「50～74歳」(17.9%)よりも13ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「町内会館・自治会館」では「男性70～74歳」が6割を超えて最も高く、「男性45～49歳」と「女性55～59歳」も5割台後半で高くなっている。また、「市民館・区役所」では男性は「30～39歳」、女性は「45～64歳」で高くなっている。

図15-26 地域で活動を行う場合に気軽に使える場所(性・年代別) —上位4項目—

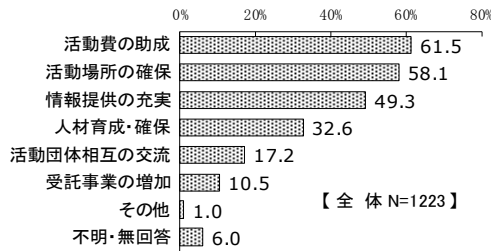


(14) 公益性が高い社会活動・地域活動に対して行政が支援すべき項目

問29 公益性が高い社会活動・地域活動に対して、行政が支援すべきだと思う項目はどれですか。(〇はいくつでも)

公益性が高い社会活動・地域活動に対して行政が支援すべき項目について、全体では、「活動費の助成」が61.5%で最も高く、次いで「活動場所の確保」(58.1%)、「情報提供の充実」(49.3%)となっている。

図15-27 公益性が高い社会活動・地域活動に対して行政が支援すべき項目



上位4項目を調査別にみると、「活動費の助成」では「30～49歳」(65.5%)が「50～74歳」(57.8%)よりも8ポイント高く、「活動場所の確保」、「情報提供の充実」、「人材育成・確保」では「50～74歳」が「30～49歳」よりも5～8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「活動費の助成」では「男性40～44歳」が、「活動場所の確保」では男女の「70～74歳」と「女性55～59歳」が、それぞれ7割前後で高くなっている。また、「情報提供の充実」では「男性35～39歳」、「男性60～64歳」、「女性50～64歳」が5割台半ばとなっている。

図15-28 公益性が高い社会活動・地域活動に対して行政が支援すべき項目(性・年代別)

—上位4項目—

